



研究発表会では、大変お世話になりました。

11月10日は、岡山県小学校教育研究会浅口支会指定、浅口市教育委員会指定の研究発表会でした。浅口市・里庄町の先生方、保護者の皆様、地域の皆様、多数ご来校頂き、誠に有り難うございました。130名を超える方々にご参加いただきました。また、保護者の皆様、地域の皆様、当日の駐車場の整理や校内整備（生け花等）へのご協力も有難うございました。11月14日号（臨時号）では、研究発表会の様子や頂いたご意見について、ご報告します。

【研究発表会について】

研究発表会は、以下のプログラムで進行了しました。

- I.研究発表：①研究主題の設定の理由についてご説明
『え、なんで?』からはじまる算数科の授業づくり ～問題提示の工夫を切り口として～
②研究概要、研究成果と課題についてご説明
- II.公開授業：1年～6年までの計6学級にて授業公開
- III.研究協議：公開授業について、授業の良かった点、反省点などを授業者と参加者で協議
- IV.指導講評・講演：IPU前田先生より、指導講評と講演



【I.研究発表】



【II.公開授業：2年生】



【III.研究協議：6年生】



【IV.指導講評・講演】

【頂いたご意見・ご感想について】

様々なご意見を頂いております。

■授業について（感想・意見） ※抜粋

- ・子どもたちが、やりたい!という思いをもてるような、導入だなと思いました。
- ・経験者も新任者も共に学び合う雰囲気伝わってきました。
- ・「どこから食べる? 食べてみて」の発問は、生活場面と結びついて、分かりやすい発問でした。
- ・(問題提示の工夫によって)子どもたちの思考は深まったが、時間が足りなかった。

■研究内容について（感想・意見） ※抜粋

- ・研究に焦点を絞ることの重要性が大変勉強になりました。
- ・12の提示方法が分かりやすかったので、取り入れてみたいです。
- ・自分だったらどうするだろうと考えるきっかけになり、大変勉強になりました。

この研究発表会を終え、算数科の授業研究は一区切りしましたが、研究発表で申し上げた通り、「成果」とともに「課題」も見えてきました。引き続き、算数に興味関心を持ち、「算数の学習を楽しんでいる子ども」の姿を目指して、粛々と進めていきたいと思っております。皆様方、ご協力、ご支援いただきまして、誠に有り難うございました。